

授業科目 社会福祉学研究方法論	科目概要・形式 1 単位 15 時間 (8 コマ) 講義科目	配当年次 博士前期 1 年次 前期 開講	オンライン参加 ㊦・不可 7 も参照のこと
科目責任者	高阪 悌雄		
担当者	高阪 悌雄		
1. 科目のねらい・目標			
本講義は、社会福祉学における研究方法論の基礎を理解し、大学院論文作成に必要な理論的・方法論的視点を修得することを目的とする。研究レビュー、資料収集、オーラルヒストリー、質的分析および主要理論の検討を通して、研究課題を理論と方法の両面から構築できる力を養う。			
2. 授業計画・内容			
第 1 回 社会福祉学における研究方法論 第 2 回 社会福祉学分野における研究レビューの分析 第 3 回 研究資料の収集方法 第 4 回 社会福祉学分野におけるオーラルヒストリーと歴史分析 第 5 回 社会福祉学分野における質的分析 第 6 回 社会福祉学分野の理論研究① 岡村重夫・仲村優一・岸勇の各理論 第 6 回 社会福祉学分野の理論研究② Rawls と Sen 第 7 回 社会福祉学分野での理論をどう扱うかー規範と分析概念 第 8 回 まとめ			
3. 教科書、参考書			
高阪悌雄 (2020) 「障害基礎年金と当事者運動ー新たな障害者所得保障の確立と当事者運動」 明石書店. 岩田正美他 (2006) 「社会福祉研究法：現実世界に迫る 14 レッスン」 有斐閣アルマ			
4. 成績評価方法			
講義での報告と討議 50% 最終レポート 50%			
5. 受講要件			
なし			
6. 社会人学生に対する配慮			
受講者と相談した上で、夜間開講、土日開講、夏季集中講義などを検討する。			
7. その他			
指定したテキストの範囲は事前に読んできてください。 ディスカッションを含むため、オンデマンド配信は行いません。			